

創エネ神戸 あわじ 竹チップ工場見学 2021年11月11日

11月11日10時～11時30分、淡路市 杉本林業（株）の竹チップ工場の見学を行いました。杉本林業の杉本龍亮社長より、工場設備、淡路島の竹林の現状、竹の資源化の取り組みなどについてご説明いただきました。

横山先生、北尾先生、創エネ神戸（伊賀、今橋、岡本、香川、近藤、富田、福田、水上、山田、渡邊）こうべ脱炭素社会づくり研究会（関根）、シルバーカレッジの現役生 合わせて18名が参加しました。



最初に工場設備を稼働させて、説明していただきました。



・高速竹粉製造機



乳酸菌醗酵飼料（竹源気）、土壌改良剤（竹の力）の製造に使用しています。

燃料用竹チップ製造機



杉本社長より 21 枚の資料を用いて説明いただきました。



淡路島地域での竹林面積は、1980 年に 544ha でした、2010 年には 2,660ha へと増加している。

同地域では、あわじ環境未来島構想推進の一環として、豊富に存在する竹資源をバイオマスエネルギーとして活用することにより、再生可能エネルギーを創出するとともに、放置竹林の拡大防止及び竹林の継続的な利活用を推進しています。

平成 24 年「あわじ島竹取物語プロジェクト稼働、平成 26 年 9 月からあわじ竹資源エネルギー化 5 年計画スタート

竹材の入手

竹材は 孟宗竹

90%が自前で切り出しを行っている

バンブーカッターを使用

自走式竹割り機を使用している。

10%が買い取りを行っている。

チラシにて淡路島民に呼び掛けている



竹をエネルギーに変えるーバイオマスエネルギーの創出

- (1) 乾燥していない竹を粉砕して、竹パウダーにして、家畜用の乳酸菌醗酵飼料にする。
- (2) 乾燥していない竹を粉砕して、竹パウダーにして、発酵させて土壌改良剤にする。
- (3) 乾燥させた竹を竹チップに加工して、竹チップボイラーの燃料にする。

竹を割ってから乾燥させる。

課題

- (1) 竹材の入手の経済性
- (2) 家畜用の乳酸菌醗酵飼料、発酵させて土壌改良剤の販売
- (3) 竹チップボイラーに発生するリンカー対策
ゆーゆーファイブの温泉ボイラーは5年間稼働している。

質問にも詳細に回答していただきました。



全員で記念に集合写真を撮りました。

(作成 岡本紘一)